



いとう 伊藤ひろし



いとう ひろし

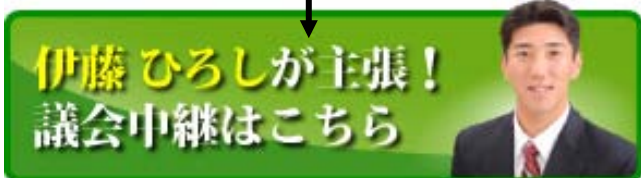
『今年度 市政の注目点』

今議会報では、平成25年第1回定例会での議会質問と予算概要、市政の注目すべき取り組みを報告させていただきます。

定例議会が、2月19日から3月22日まで開催されました。当選以来、毎回一般質問を行っていますが、今回で24回目となりました。議会質問の録画中継をインターネットで観る事ができます。

伊藤 ひろし

検索



習志野市議会

議会中継

(質問項目)

- ・職員数について
- ・防災用行政無線の整備について
- ・0歳～3歳未満の待機児童解消について
- ・学校の空き教室の有効活用について
- ・まちづくり会議、職員地域担当制について

会期日程

3月4日(月) 一般質問 4番目

詳細は、次回以降の議会報で報告する予定です。

25年度予算

3月議会では、市長議案・市民からの陳情以外に、25年度当初予算(案)も審議しました。市長の予算編成は、修正されることなく、賛成多数で可決しました。

《一般会計の予算・財政状況》 25年度の市債発行額 55億2300万円 債務残高の総額 799億円
 10億7000万円増で過去最大予算(総額 518億5000万円) 職員数: 13人増(1430人)
 職員手当(退職手当も含む): 3億5000万円増(総額 45億2289万円)
 不動産売却収入: 7900万円増(総額 1億7400万円)

《主要事業》

- (新庁舎建設) 基本設計など: 8900万円
- (消防) 実籾分遣所の建設: 3億9900万円、谷津分遣所建替え用地購入: 2億7000万円
- (学校) 津田沼小校舎解体、プール、グラウンド整備: 4億7600万円、谷津小校舎増築: 1億円、
幼・小・中・高等学校耐震化: 2億6100万、放課後児童会施設整備: 6890万円
- (幼稚園と保育園の一元化) 袖ヶ浦こども園整備: 11億1300万円、
- (災害復旧など) 道路: 9億9400万円、下水道: 1億円、液状化対策: 8300万円
被害住宅再建支援: 3億2000万円
- (公共交通) 東習志野・実籾地域での実証運行: 2260万円
- (防犯) 防犯灯の全体的なLED照明化: 3900万円

公共施設再生計画

重要課題：公共施設の建替えと財源確保

習志野市の重要課題の1つは、「公共施設の建替えと財源不足」です。市内の公共施設（市庁舎・消防署・保育所・幼稚園・学校・市民会館など）は、老朽化（築後50年・耐震不足）をむかえます。

習志野市が試算した結果では、現状の施設を大規模改修・建替えた場合、今後25年間に必要となる事業費は868億円、毎年約34.5億円が必要です。

しかし、財政を分析すると毎年約15億円の予算しかありません。

よって、財政状況を考慮すると「廃止・統合」して、施設数を減らす必要があります。

この決断は、公務員ではできません。習志野市を100年・200年後も残すための決断は、政治家の市長と議会（議員）の役割です。

政治家が選挙の当落を考え、市民からの批判を受けるであろう、「施設統廃合」の決断を先延ばしすることは、市民、子どもたち、子孫への背任行為であり、自分たちの時代さえ良ければという発想です。

今年度は、公共施設の配置計画となる「公共施設再生計画」の作成を予定しています。施設の配置は、「まちづくり」そのものです。

また、財源確保の選択として、市有地のあり方も重要となります。

なぜなら、短絡的に市有地売却を選択し、財源確保ができたとしても、次の50年後に老朽化した際の、建替えの財源確保が無くなるからです。

将来を見据えて、市民の財産である市有地（施設跡地も含む）の売却、または定期借地による定期収入の選択判断が求められます。

将来も習志野市を残し、かつ市民の幸せを実現するために、今年度は重要な1年です。

【伊藤ひろしプロフィール】

現在：習志野市議会議員 2期目 昭和50年（1975年）10月生まれ（37歳）

家族：妻・長男（5歳） 東海大学政治経済学部卒

地域活動：消防団・交通安全協会・ソフトボール協会

〒275-0021 習志野市袖ヶ浦2-4-1-102 電話：047-454-8358

メールアドレス hiroschi-ito@hiroschi-ito.com